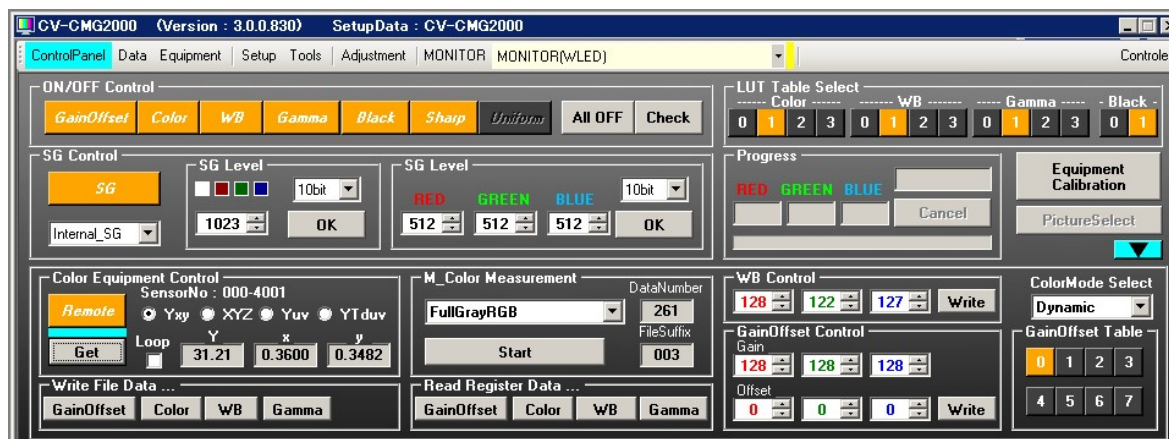


カラーマネージメントソフトウェア

型番 : CV-CMG2000

コニカミノルタ製の色彩色差計をコントロールし、色度や輝度測定だけでなく、さまざまな自動調整機能を有するソフトウェアです。



測定器として使用する単体機能



CV-CMG2000 のインターフェース上に測定結果を表示します。

測定項目は色彩色差計の仕様によります。

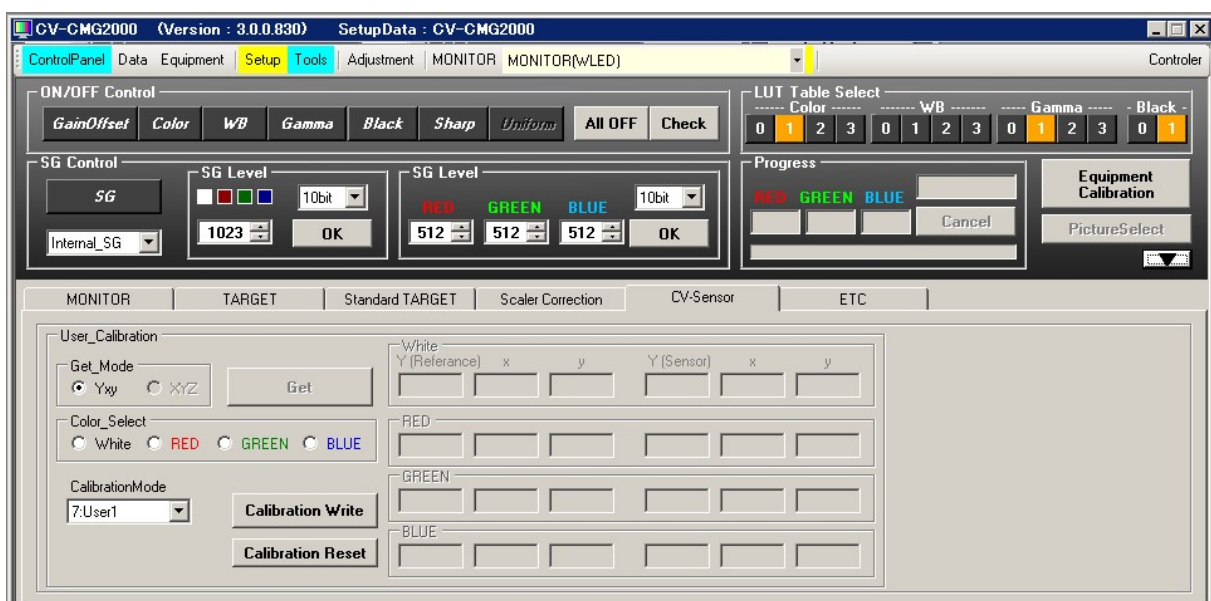
社内基準測定器との校正

社内に色度や輝度の基準測定器がある場合、基準測定器と同じ測定値となるように校正することができます。

RGBW の4色については基準測定器と対象の色彩色差計で測定すると簡単に校正することができます。

基準測定器は高精度の測定器をご使用ください。

(コニカミノルタ CS-1000、CS-2000、Topcon SR-3 など)



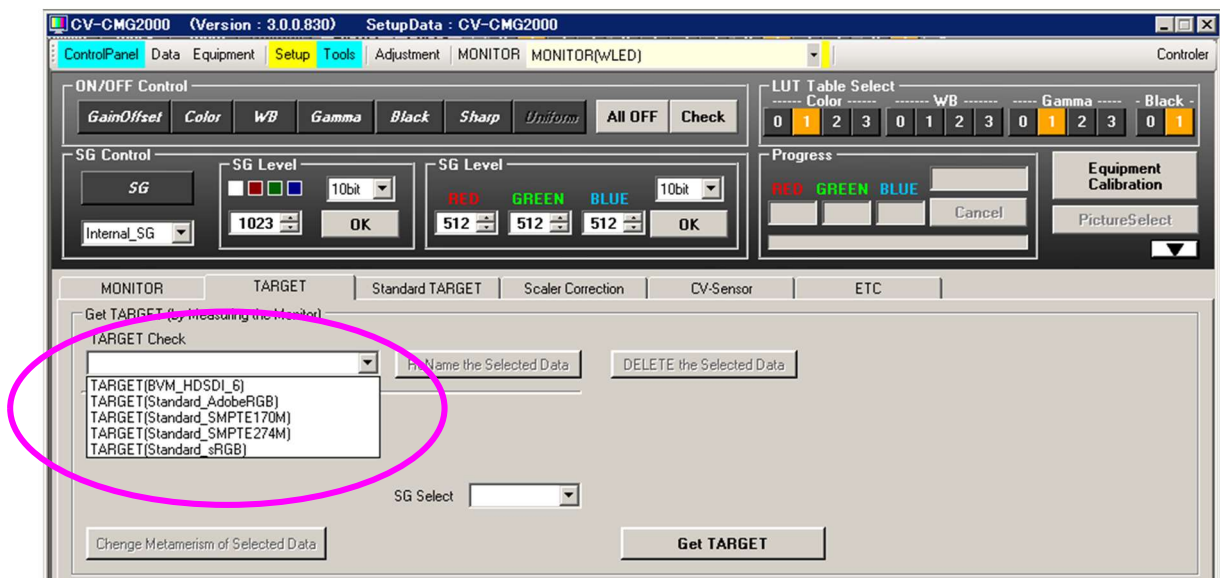
カラーエンハンス IC と組み合わせた色調整機能

単純な色の測定だけではなくカラーエンハンス IC が搭載されたディスプレイの自動調整システムの構築を実現することができます。

カラーエンハンス IC と組み合わせた場合の特徴

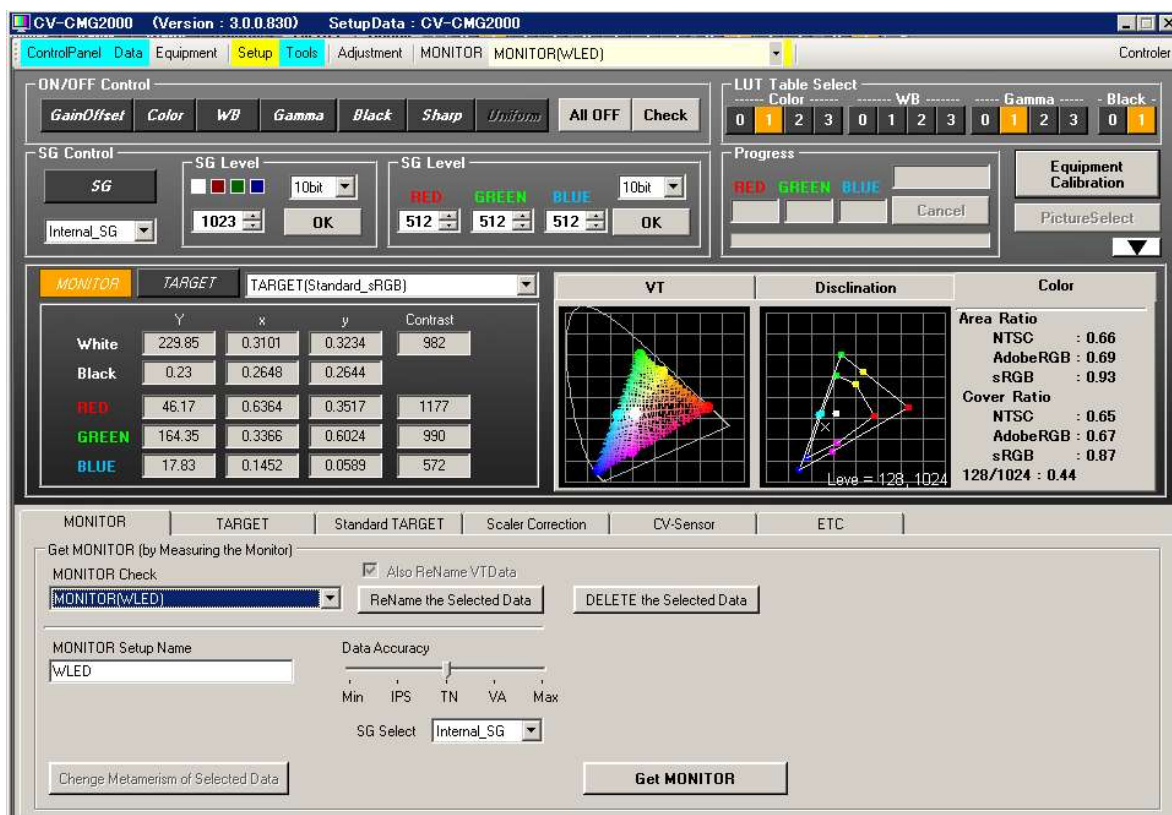
1. Target 色空間を指定した自動調整

規格に定められた色空間（sRGB、AdobeRGB、DCI など）を選択すると、正確に調整することができます。使用する LCD パネルが変更になっても指定された色空間に調整されるため同じ色で再現します。



2. Monitor、LCDTV の自動評価

LCD パネルの光学特性を精密に測定し自動的に評価をします。



評価項目

- RGB、White、Black の色度/輝度/コントラスト
- VT カーブ
- 色度の NTSC 比、AdobeRGB 比など
- 色度範囲のカバー率など

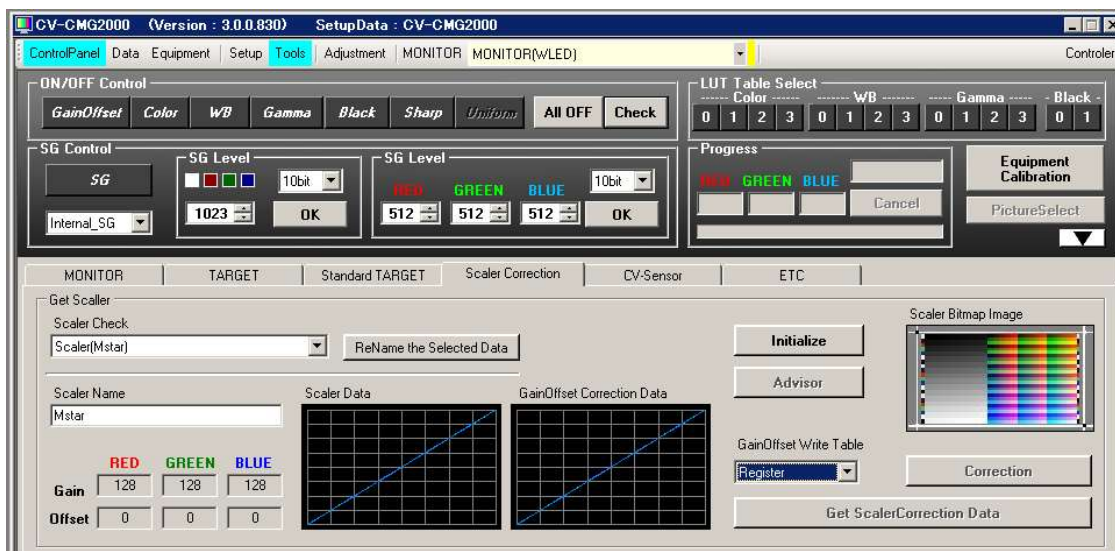
3. スケーラの特性評価と補正機能

LCD モニタや LCDTV では、様々なスケーラを採用することが多くなってきています。

DVI または HDMI などデジタル入力であれば、どのスケーラをご使用になられても出力は同じになるはずですが、実際はスケーラ内での演算誤差が多く、スケーラボードを変更すると色が変わってしまうという問題点が指摘されています。

本機能は、外部の DVI または HDMI から弊社指定の測定用画像を表示し、スケーラ内での誤差を測定します。その誤差データを元に GammaLUT や ColorLUT などの補正データを生成しますので、スケーラの演算誤差や ColorSpace の間違いなどがあっても全て同じ色に調整することができます。

スケーラの測定時間は、およそ 10 分です。

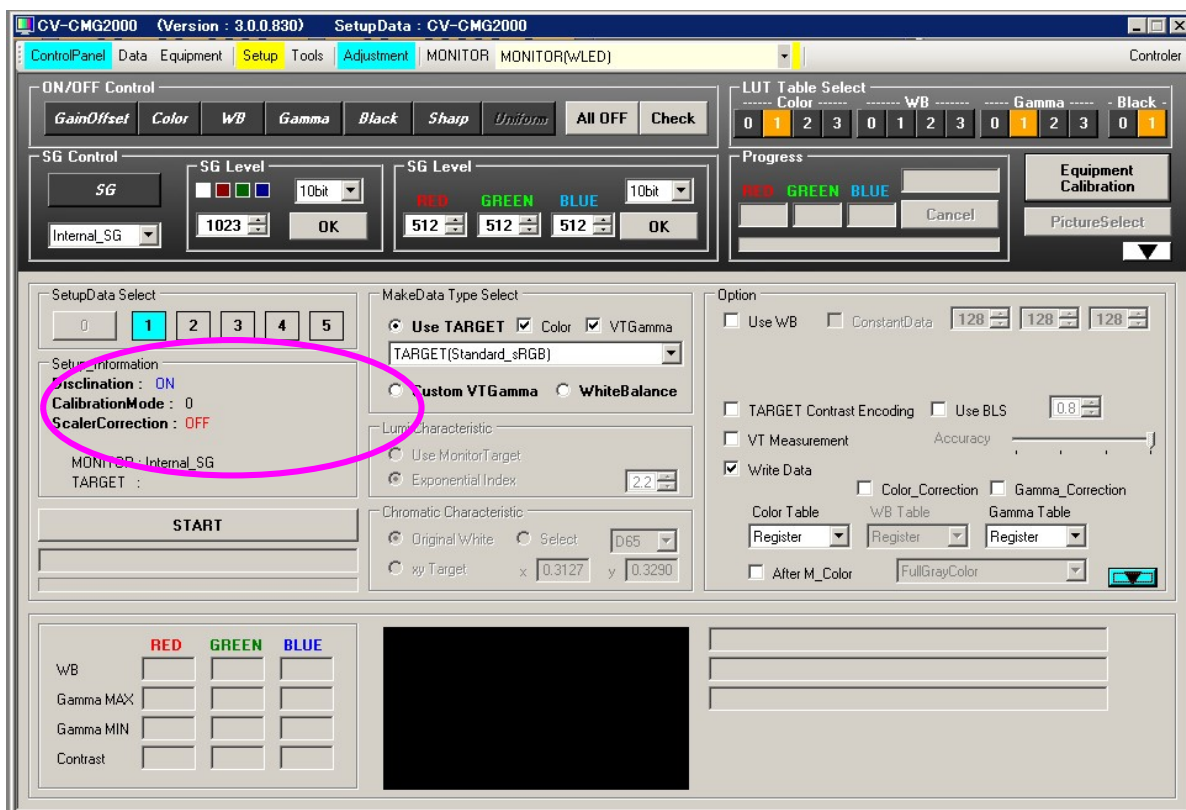


4. 量産自動調整システムへの対応

高精度に LCD パネルを調整するには、生産ラインで 1 台ごとに測定と調整が必要になります。

CV-CMG2000 は、最大 5 種類の TARGET 色空間を指定することができます。1 回の測定で GammaLUT や ColorLUT など最大 5 種のデータを生成し、カラーエンハンス IC にデータ転送することができます。

研究開発用だけでなく量産用の調整システムとしてもご利用いただけます。

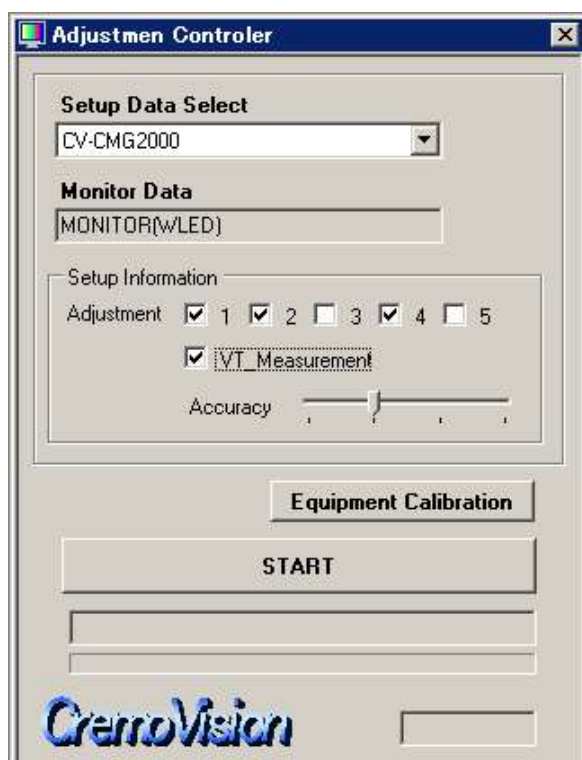


5. 量産ライン用ソフトウェア

作業員の操作ミスにより、間違った調整で出荷されてしまう事故が起こる場合があります。

CV-CMG2000 は操作ミスによる事故を未然に防ぐため、決められた調整作業しかできない製造ライン専用のソフトウェアが用意されています。

詳細な設定は、CMG-2000 とリンクされています。



PCの仕様

- *OS: Windows
- *CPU: Intel CPU
- *Port: Please confirm in advance.
- *Resolution of PC monitor: SXGA